ボーリング柱状図

調　査　名　橋梁詳細設計業務委託

事業・工事名　平成29年度 主要地方道吉田豊栄線(戸島)交通安全施設等整備事業

ボーリングNo										

シートNo

ボーリング名	Bor. 2	調査位置	広島県安芸高田市向原町戸島地内	北　緯	34°37’45.6″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成 29年 9月 6日 ～ 29年 9月 13日	東　経	132°42’40.6″
調査業者名		主任技師	現場代理人 / コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	219.72m	角度 180° 上 下 90° 0° 0°	方向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 水平0° 90° 0°	
総掘進長	15.00m				

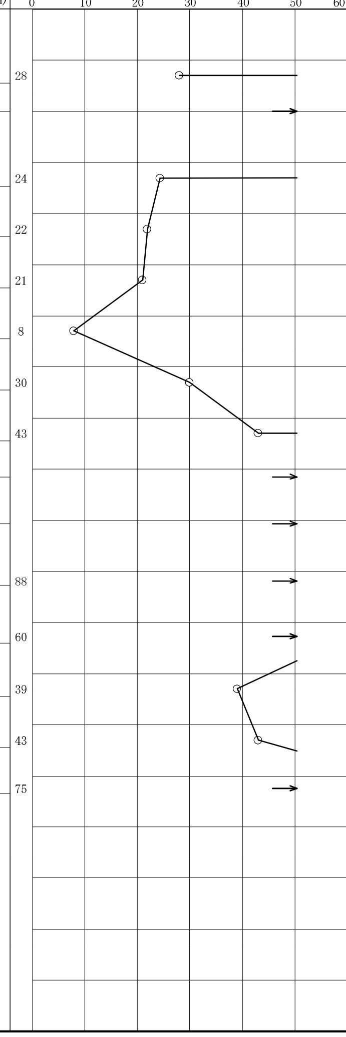
使用機種			
試錐機	D1-B(東邦地下)	ハンマー落下用具	半自動落下
エンジン	NFD-13(ヤンマー)	ポンプ	BG-3C(東邦地下)

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
216.97	2.75	2.75	盛土、玉石混り砂礫	暗褐～褐灰	中ぐらい～非常に密な		φ100mm以上の転石，コンクリート片を含む堤体盛土。マトリックスは中～粗砂主体の混合砂と細粒分で占められるも不均質な土層である。
215.67	1.30	4.05	砂礫	褐	中ぐらい		河床堆積物。粗砂主体の混合砂とφ50mm以下の亜円～円礫主体。
214.22	1.45	5.50	礫混じり砂	淡灰	中ぐらい		上位と比較して，礫径が小さく礫率がやや少ない。細粒分がやや少ない。
213.67	0.55	6.05	砂質粘土	淡青灰			中砂を多く含む粘性土。全体に砂分を混入する。
212.97	0.70	6.75	砂混じり粘土	青灰		中位	細砂を含む粘性土。上位と比較して，砂分が少ない。
205.82	7.15	13.90	玉石混じり砂礫	黄褐	密な～非常に密な		洪積世の玉石を含む礫層。コア長L=5～20cmの流紋岩の硬質玉石主体，2個/mの頻度。中砂主体の混合砂とマトリックスは軟質クサレ礫及び細粒分で占められる。充填度は良好で，土塊としての自立性に富む。
204.72	1.10	15.00	風化流紋岩	淡黄	密な～非常に密な		基盤である流紋岩。岩構造は明瞭であるが，芯部まで風化が進み土砂化が著しい。DH級，軟岩Ⅰに区分。

孔内水位(m)／測定月日：9/13 1.79，9/12 2.00 [illegible]

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量(cm)	N値
1.15～1.45	1/12	15	12/8	28/30	28
1.45～2.00	貫入不能			50/0	
2.00～3.15～3.47	6	11	9/12	26/32	24
4.15～4.45	11	7	4	22/30	22
5.15～5.45	9	6	6	21/30	21
6.15～6.45	3	3/12	2/8	8/30	8
7.15～7.45	13	11	6	30/30	30
8.15～8.45	13	13	17	43/30	43
9.15～9.15	貫入不能			50/0	
10.07～10.07	貫入不能			50/0	
11.10～11.27	19	31/7		50/17	88
12.15～12.40	15	23	12/5	50/25	60
13.15～13.45	10	9	20	39/30	39
14.15～14.45	9	15	19	43/30	43
15.15～15.35	15	35		50/20	75



試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
4.15～4.45	P-1	⊖	物理
5.15～5.45	P-2	⊖	物理
6.15～6.45	P-3	⊖	物理
7.15～7.45	P-4	⊖	物理

掘進月日：9/6，9/7，9/8，9/11，9/12，9/13